

第43回 外国人による日本語弁論大会



ソテロさん受賞の様子

全体集合写真



沖縄県知事賞(最優秀賞)
ソテロさん



沖縄県国際交流・人材育成財団
理事長賞(優秀賞)リュウさん



沖縄テレビ賞(優良賞)
クロスさん



審査員特別賞 ギリさん

「第43回外国人による日本語弁論大会」が去る2月15日(日)にアイム・ユニバース てだこホール(大ホール)で行われました。11の国と地域から24名の応募があり、今大会にはアジアやヨーロッパ出身など9の国と地域から12名の外国人が登壇しました。

沖縄県知事賞(最優秀賞)を受賞したのは、琉球大学に在籍するペルー出身のソテロ・ウエハラ・ファビオさんです。「たどり着くまで」と題した発表で、沖縄のエイサーとの出会いが、自身のアイデンティティを見つめ直す大きなきっかけになったと語りました。日系ペルー人のソテロさんは、「日本人でも、ペルー人でもない自分とは何か」と葛藤を抱えてきま

したが、ペルーで初めてエイサーに挑戦し、それが祖先の出身地である沖縄の伝統芸能であると知ったことで、自身のルーツとのつながりを実感しました。アイデンティティの意味を見出すまでには苦しい思いもありましたが、その経験を通して、ありのままの自分を受け入れ、誇りに思えるようになったといいます。今後は自身の経験を生かし、同じように悩む日系人の支えになりたいと語りました。

沖縄県国際交流・人材育成財団理事長賞(優秀賞)を受賞したのは、中国出身のリュウ・ミョウさんです。大学で教鞭をとるリュウさんにとって、海外渡航は決して気軽なものではありません。ビザの申請が必要であり、渡航先による厳しい

(2ページに続く)





審査を受けなければならず、短期間の滞在であっても多くの手続きと時間を要します。こうした経験を通して、若者の未来に対する大人の責任について考えるようになりました。

かつて教え子2人が、ビザが下りなかったために海外実習に参加できなかったことがありました。その経験から、現在の大人の在り方が若者の可能性に影響を与えている現実を伝えました。リュウさんは、「大人が責任ある行動を取り、若者の未来の可能性を狭めない選択をし続けなければなりません」と語りました。その言葉は、観覧者に深い気づきを与える発表となりました。

スペイン出身のクロス・ルベンさんは、沖縄テレビ賞(優良賞)を受賞しました。クロスさんの目標は、沖縄を世界で最も多言語教育が充実した地域にすることです。その実現に向けて、県内各地で子どもたちに語学を学ぶ楽しさを伝える活動を続けています。ヨーロッパでは多言語教育が一般的ですが、日本ではまだ十分に普及しているとはいえません。英語に加えてさまざまな言語に触れる機会を持つことで、子どもたちの可能性は大きく広がります。クロスさんの活動は、

沖縄の子どもたちの未来に新たな可能性をもたらすものとして、高く評価されました。

審査員特別賞を受賞したのは、ネパール出身のギリ・ブラティクチャさんです。ギリさんは、日本での生活の中で、授業中の積極的な発言を否定的に受け取られたり、アルバイト先で外国人であることを理由に接客を外れるよう求められたりするなど、困難を経験してきました。しかしその一方で、周囲の人々の支えに何度も救われ、「ここにいてもいい」と思えるようになったといいます。発表の中でギリさんは、沖縄の言葉「いちやりばちよーでー(一度会えば、みな兄弟)」を紹介し、「もし周りに困っている外国人がいたら、『大丈夫?』と声をかけてほしい。その一言が、誰かの孤独を希望に変える力になります」と語りました。その言葉は、多文化共生の大切さと、人と人とのつながりの温かさを、観覧者に深く伝えるものとなりました。

本大会では、ソテロさんをはじめとする多くの参加者が、素晴らしいスピーチを披露し、大会を大いに盛り上げました。ご協力頂いた関係者の皆様、心より感謝申し上げます。

おきなわ国際協力・交流フェスティバル 2025に出展しました!!

2025年11月16日(日)、浦添市のJICA沖縄で開催された「おきなわ国際協力・交流フェスティバル2025」の展示ブースに出展しました。

今年で30回目を迎えた本フェスティバルでは、民族衣装ファッションショーや世界の歌と踊りが楽しめるステージ、県内の国際協力・交流団体によるブースやワークショップなど、多彩なプログラムが行われました。OIC食堂の多国籍バイキングやキッチンカーも並び、会場は一日を通して国際色豊かな雰囲気に包まれていました。

当財団のブースでは、日本語教室や外国人法律・生活相談窓口、災害時の外国人支援など、日頃の取り組みをご紹介します。

事業内容にちなんだクイズコーナーには、大人から子

どもまで多くの方が立ち寄り、楽しみながら挑戦する姿が見られました。

また、防災バックや非常食、ローリングストックの展示コーナーでは、来場者の皆さまが実際に手に取ってご覧になり、防災への関心の高さを感じる場面もありました。

参加型イベントとして実施した当財団の理事長による空手体験教室(1回)と防災ボトル作成ワークショップ(2回)も、多くの方にご参加いただき、会場は大いに盛り上がりました。

ご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。



ブースの様子



防災ボトル作成ワークショップ



空手体験教室

「令和7年度九州地区地域国際化協会 連絡協議会実務者研究会」

令和8年1月23日(金)、那覇市松尾の沖縄県教職員共済会館八汐荘において、「令和7年度九州地区地域国際化協会連絡協議会実務者研究会」を開催しました。

本研究会には、九州各県および政令指定都市の地域国際化協会の実務担当者が参加し、日頃の課題や取組事例などについて活発な意見交換が行われました。

また、沖縄弁護士会所属法律事務所春の白充弁護士を講師に迎え、「在住外国人と人権」をテーマにご講演いただきました。白氏ご自身の経験を踏まえた外国人の人権をめぐる現状についてのお話のほか、多文化共生を推進する地域づくりにおいて重要となる視点や、自治体・関係機関に求められる役割についても提言があり、参加者はあらためて人権尊重の観点から多文化共生を進める意義を確認しました。



沖縄県の多文化共生 ～これから～

令和7年10月に出入国在留管理庁が公表した沖縄県の在留外国人数は約3万1千人に上ります。若年人口に占める外国人の割合も高まり、外国人住民は地域社会を支える重要な存在となっています。今後、新たに「育成就労」制度の開始も予定される中、日本語学習支援や生活支援の充実が、ますます重要な課題となっています。



白氏は、令和4年1月に「沖縄県不当な差別的言動に関する条例」制定に向けた検討委員会の委員に就任。令和6年7月には沖縄県「多文化共生社会の構築に関する万国津梁会議」委員に就任されるなど、人権擁護および多文化共生の推進に幅広くご尽力されています。

沖縄県国際交流団体連絡会議を開催しました!!

沖縄県国際交流団体連絡会議は、沖縄県国際交流団体連絡会に加盟する県内国際交流団体が、相互の情報交換や連携強化を図ることを目的に、年1回開催しています。

今年度は、令和7年10月24日(金)、那覇市の八汐荘において開催しました。当日は、NPO法人国際活動市民中心(CINGA)より新居みどり氏を講師にお迎えし、多文化共生を取り巻く現状や課題についてご講話いただきました。外国人住民を取り巻く環境が刻々と変化する中で、新たな視点や気づきを得る貴重な機会となりました。

また、各団体からの活動内容紹介や意見交換も行われ、日頃それぞれの地域や分野で活動する団体同士がつながりを深める場となりました。本会議が、団体間の横の連携をより一層促進する契機となることを期待しています。

沖縄県国際交流団体連絡会では、随時入会を受け付けております。詳細は、当課のホームページをご覧ください。お待ちしております。





外国人のための法律相談

沖縄弁護士会国際委員会委員長 安井 琢磨

外国で生活をするというのは大変なことです。言語の問題、文化の違い、法制度の違いなど、私自身も米国で2年半生活した経験からその大変さは身に沁みて分かります。

沖縄弁護士会は、沖縄県国際交流・人材育成財団と協定を締結し、沖縄県内の外国人の方が同財団に申し込まれた際に、法律相談を担当する弁護士を紹介しております。法律相談は、弁護士の法律事務所で行われます。初回の相談料及び通訳費用は無料です。また、同財団が市町村役場で実施する「外国人のための法律相談会」に、担当弁護士を派遣するなどの活動を行っております。こちらも、相談料や通訳費用は無料です。

私たちは、外国人からの法律相談を担当するたびに、日本で生活する外国人の大変さを理解しながら出来る限り寄り添い、法律のアドバイスをするように心がけています。例えば、住んでいるアパートの大家さんに賃貸借契約の更新を拒否された、働いている職場で突然解雇を言い渡されたなどといったご相談は、外国人にとっては日本人以上に深刻な問題ですが、日本の法

律を知っていれば、泣き寝入りすることなく済むケースも少なくありません。ただ、そもそも、そうした問題を抱えても、どこに相談すればならないか分からない、相談料がいくらかかるか不安であるといった方が多いのではないかと思います。

同財団のこうした取組みは沖縄県内の外国人の方のお困りごとを解決する上で役立っているものと思います。

なお、上記でご紹介した外国人の法律相談を担当する弁護士は、沖縄弁護士会国際委員会に所属する弁護士です。同委員会では、外国生活の経験がある弁護士、外国人と結婚している弁護士、外国に関心のある弁護士などが委員を務めていますが、各弁護士に共通するのは、沖縄県内で生活する外国人の方々に寄り添う気持ちを持っていることです。

私たちは、沖縄県内に在住する外国人の方々が日常の法律問題で困った際に、相談できる弁護士がいてよかったですと思っていただけるように、日々の研鑽を積み、これからも活動を続けて参ります。

外国人のための無料法律相談会



外国人の方々やそのご家族が気軽にアクセスできる場所で弁護士に無料で相談できるよう、10月には沖縄市役所、12月には宜野湾市役所において、庁舎の一角をお借りし、外国人のための無料法律相談会を実施しました。

沖縄市での相談会は、事前に相談枠4枠すべてが埋まり、当日は3件の法律相談を実施しました。残り1件については、相談者の都合により実施には至りませんでした。宜野湾市での相談会は、事前に3件の予約があり、当日は計4件の法律相談を実施しました。そのうち1件は当日受付による相談でした。相談を通じて、相談者の課題整理が進んだ様子がうかがわれました。

無料法律相談会は、引き続き実施していく予定です。日本語が話せなくても、なるべく通訳を手配できるよう努めています。お近くに生活・法律問題等に困っている外国人やその家族等がいらっしゃいましたら、ぜひOIHFをご案内ください。



OIHFでは、普段から生活相談を受け付けています



OIHFでは、沖縄県内に在住する外国人およびそのご家族が安心して生活できるよう、各種相談を受け付けています。また、法律など専門的な助言が必要と判断される場合には、沖縄弁護士会と連携し、1回限りの無料法律相談を提供しています。

生活相談

相談料：何回でも無料

相談方法：電話やメール、対面、フェイスブックのメッセージなど



対応時間：平日 9:00 ~ 17:00 (祝日を除く)

法律相談

相談料：弁護士への相談料、通訳者への謝礼金および交通費は、初回に限り無料 (OIHFが負担します)。※原則として、同一の相談内容につき1回限りの対応となります。

相談方法：原則弁護士事務所での相談

対応時間：平日での対応となり、日時の指定はできません。(手配には通常1~2週間かかります。)

リーガル・ライフサポータースキルアップセミナーを実施しました

10月18日(土)、浦添市のP's SQUAREにて、第2回リーガル・ライフサポータースキルアップセミナーを開催しました。

当日は、沖縄弁護士会所属の石井恵介弁護士を講師にお迎えし、「賃貸トラブルに関する法律知識」をテーマにご講演いただきました。賃貸に関する基本的な法律知識から、日本人・外国人を問わず陥りやすい賃貸トラブルについて分かりやすく解説していただきました。参加者自身にとって有益であるとともに、外国人支援の場面においても活用できる内容でした。



参加者の声

専門家の見地の講習が聞いてとても良かったです。

非常に有益な講座でした。

特定技能外国人を雇用しており起こりそうなトラブル等を事前に知ることができ大変勉強になりました。

石井恵介先生からのコメント

本セミナーでは、まず賃貸借契約に関する一般論として、民法および借地借家法の基本から、賃貸借の成立要件、契約当事者の義務、そして借家人が契約締結時・入居中・明渡し時に留意すべき実務上のポイントを体系的に解説いたしました。後半では、私が実務を通じて得た経験に基づき、「賃貸借と外国人」という今日的なテーマに焦点を当てました。具体的には、「言語の壁と情報提供の不足」、「入居差別・入居拒否の問題」、「退去時の手続や原状回復に関するトラブル」、「保証人・身元確認に関するトラブル」といった、外国人居住者が直面しやすい具体的な課題を深く掘り下げました。聴講者の皆様には熱心にお聴きいただきました。皆様が真剣に耳を傾けてくださったことに感謝申し上げます。質疑応答の時間では、現場の声を踏まえた、実務的かつ鋭い質問を大変多くお寄せいただき、参加者の皆様の業務に対する真摯な姿勢を実感しました。

また、財団からは「事例検討」セッションの題

材を事前にご提供いただき、心より感謝申し上げます。これにより、法律の理論的な知識と、複雑な現実の事案を解決するための具体的なアプローチとを結びつけることができ、参加者の方々が実務能力を高める上で大変有益な時間になったと考えています。





「災害時外国人支援サポーター養成講座」開催報告

OIHFでは、平成28年度より「災害時外国人支援サポーター」の養成を行っています。近年、全国的に自然災害が多発している状況を踏まえ、災害時外国人支援のさらなる促進が求められています。

「災害時外国人支援サポーター養成講座」は、新規サポーターの養成および既存サポーターのブラッシュアップを図るとともに、在住外国人を含む地域住民の防災・減災意識の向上を促進し、地域防災力の強化につなげることを目的として実施しています。

令和7年度下半期は沖縄県からの委託を受け、下記の通り実施しました。



災害時外国人支援サポーター養成講座 in 名護



災害時外国人支援サポーター養成講座 in 石垣

〈講師〉株式会社サンダーバード 代表取締役 翁長 由佳 氏
 〈内容〉①災害時外国人支援に関する知識
 ②災害時における外国人対応 など

〈実施日時〉令和7年11月13日(木)

〈会場〉名護中央公民館

〈実施日時〉令和7年11月27日(木)

〈会場〉石垣市役所



災害時外国人支援の豆知識

Q. 多言語支援センターとは？

沖縄県災害対策本部が設置される大規模災害発生時に、沖縄県からの要請を受けて、OIHFは「多言語支援センター」を立ち上げます。多言語支援センターは、災害時外国人支援の活動拠点となります。同センターは、当財団、宜野湾市役所、またはJICA沖縄のいずれかの場所に設置されます。

Q. 具体的な支援内容は？

- 1 多言語による災害情報などの翻訳・発信
- 2 外国人からの相談・問合せへの多言語対応
- 3 外国人の被災・避難状況などの情報収集
- 4 外国人支援に必要な職員の派遣・サポーターへの協力依頼 などです。

Q. 災害時外国人支援サポーターとは？

災害時に、多言語支援センターの活動にご協力していただくサポーターです。

災害発生時には、多言語支援センターから、サポーターの皆さまへご協力をお願いします。

〈外国語能力〉

外国語が話せなくても、ご登録いただけます。

〈災害時外国人支援サポーターへの登録〉

ご登録は任意です。講座受講後、サポーターとしての活動を希望される方に、ご登録をお願いしています。

市町村別・言語別サポーター登録数(令和8年2月28日現在)

市町村	人数	対応可能言語	人数
那覇市	41	やさしい日本語	127
浦添市	23	英語	78
宮古島市	22	中国語	15
石垣市	17	韓国語	4
豊見城市	11	スペイン語	4
宜野湾市	9	インドネシア語	3
沖縄市	7	フランス語	2
糸満市	4	ベトナム語	2
うるま市	3	ネパール語	1
嘉手納町	2	ドイツ語	1
北中城村	2		
北谷町	2		
名護市	2		
南城市	2		
西原町	2		
八重瀬町	2		
与那原町	2		
恩納村	1		
宜野座村	1		
金武町	1		
読谷村	1		
県外	6		
総計	163		

※対応可能な言語がいくつかある場合は、複数言語でご登録いただいています。





国際交流団体助成事業

OIHFでは、市町村または民間団体が行う国際交流事業に対して助成金を交付し、国際交流の振興を推進しています。

助成金交付対象事業

- 海外事情の知識普及のための文化講演会、展示会、弁論大会など
- 海外からの留学生、研修員、訪問団員等との交流会やホームステイの受け入れなど
- 県民と在住外国人との相互理解・親睦を深めるための交流会や語学講座など

交付限度額

- 単独で実施する事業：**10万円**
- 複数で実施する事業：**20万円**

令和8年度の募集時期

令和8年**5月1日**から同年**6月30日**まで（予定）

※令和8年4月から令和9年1月末日までに実施する事業が対象です。

「国際交流事業助成金交付要綱」は、右記のQRコードよりご覧ください。



皆さまのご応募をお待ちしています。

令和7年度交付団体のご紹介（7団体／助成金交付額 合計 459,654円）

mogomoGO様：「日韓未来人材育成のための留学・学校説明会」

沖縄ポリビア協会様：「在ポリビア県系高校生と沖縄県の高中生との研修・交流プロジェクト」

沖縄ハワイ協会様：「第3回ハワイフェスティバル in Okinawa」

沖縄県ユネスコ協会様：「令和7年度ユネスコ子どもの集い」

在沖縄ベトナム人協会様（共催：沖縄ベトナム友好協会様）：「第1回国際交流サッカー大会オープンカップ」

宜野湾市国際交流協会様：「餅つき体験会」

浦添市国際交流協会様：「令和7年度多文化共生事業 夏休み親子居場所作り支援「お好み焼きを作ろう！」」



OIHF日本語教室には、さまざまな国や地域から来た方々が参加し、日本語を学びながら地域での生活に親しんでいます。令和7年4月から令和8年3月までの学習者を見ると、出身国・地域は多岐にわたります。教室では、「日常生活に必要な日本語基礎対面クラス」（年3期制）に加え、令和7年9月から「日常生活に必要な日本語基礎対面一会話クラス【超初心者】」を開設しました。日本語学習とともに、学習者同士や地域の方々との交流を大切にし、安心して暮らせるつながりづくりを進めています。

令和7年度日本語教室 出身国・地域別の学習者数

国・地域	人数
アメリカ	19
フィリピン	16
日本	5
香港	5
中国	4
台湾	3
イギリス	2
カンボジア	2
ペルー	2
オーストラリア	1
カナダ	1
南アフリカ	1
モロッコ	1
ラオス	1
ロシア	1
総計	64



医療通訳支援



OIHFでは、県内在住外国人の方々に対し、安心して医療機関を受診できるよう、医療通訳者を紹介しています。

利用者負担

医療通訳者への謝礼金1時間あたり2,000円及び医療通訳者の交通費

- 依頼方法 通訳希望日の5日前(土日祝日除く)までに、HPオンラインフォームより申し込む
- 対象言語 英語、中国語
- 紹介範囲 沖縄県内。離島地域については、必要に応じて Zoom等でも対応する。

また、医療通訳者の紹介のほか、沖縄県内の外国語対応医療機関をリストアップし、ホームページで公開しています。



沖縄県外国語対応医療機関
Okinawa Medical Information

国際理解・国際協力のための中学生作文コンテスト

白保花稀さん(石垣中)・北野駿虎さん(開邦中)が

特賞を受賞

(公財)日本国際連合協会主催による「第65回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」において、沖縄県代表のお二人は見事、中央審査会で最高賞にあたる「特賞」を受賞しました！特賞は全国2,393の応募作品の中から選ばれた4作品におくられます。おめでとうございます！

さらに、今年の春休みには「奥・井ノ上記念 日本青少年国連訪問団」の一員として、アメリカ・ニューヨークへ派遣されます。

文部科学大臣賞

石垣市立石垣中学校 2年 白保花稀さん
あなたが考える平和とは何か。
そのために何をすべきか。



作品の全文はQRコードから

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟会長賞

沖縄県立開邦中学校 3年 北野駿虎さん
あなたが考える平和とは何か。
そのために何をすべきか。
- 平和への対話、その一歩を踏み出すために -



作品の全文はQRコードから

OIHF法人賛助会員様



沖縄県商工会連合会

パシフィックホテル沖縄